

石高新聞

R 4 年
11月1日 行号
発第48号

生徒ら市の未来考える ～市長との意見交換会～



↑桜井市長(中央左)と意見を交換する生徒ら

10月21日(金)小矢部市長桜井森夫さんが石動高校を訪れ生徒20名と語り合った。交換会はテーマごとの4つのグループに分かれて実施。「小矢部市が目指す

未来像」や「今必要なもの」、「交通」、「活性化の効率的な方法」についてそれぞれ生徒で意見を出し合ったあと、市長が各班を回り意見交換した。



↑グループで出した意見を発表する生徒

意見交換後には、テーマに沿ってグループで出し合った意見を模造紙にまとめ、代表の生徒が発表した。違うテーマでも同じような問題点が出たり、各班でそれらの改善案に違いが出たりと様々な視点での生徒の声が聞かれた。中にはアイドルを新たに作りライブを行って集客し、その力で地域を活性化しようとする高校生らしい意見も見られた。その他にも自らの体験をもとにした意見が発表された。

生徒の意見に感激

小矢部市長の桜井さんは今回の意見交換会を振り返り「生徒たちの素晴らしい意見に感激した」、「まるで市議会議員のような大人顔負けの意見だった」と述べた。意見で出た歩行者信号の点灯時間に対して「実際に現地に行って確認して本当ならば警察に連絡し改善したい」と答えた。これからの小矢部市について「石動駅からアウトレットを線で結んで活性化していきたい」、「小矢部に住み続けてもらえるような魅力あるまちづくりをしたい」、「もっとSNSを使い情報を発信していきたい」と展望を語ると、「近き人よるこび、遠き者来る」と孔子の言葉を用いて「遠くの人に住みたいと思えるような町にするために、まずは今住んでいる人に満足してもらえようかなにしていきたい」と笑顔を見せた。